

身長2メートル「3年で1軍」 育成ドラフト、巨人8位・阿部投手（札幌大谷高）



[指名後、船尾監督と並びポーズを取る阿部剣友投手（左）](#)

巨人から育成8位で指名された札幌大谷高の阿部剣友投手（18）は身長2メートルの恵まれた体格。「諦めかけていたけど名前が呼ばれてホッとした。本当にうれしい」。26日、会議開始から3時間余りが過ぎて指名されると、左腕は緊張気味の表情を少しほころばせた。

身長200センチ、体重101キロ。入団すれば、同じく巨人からドラフト5位で指名された秋広優人投手・内野手（東京・二松学舎大付属高）と並び日本人最高身長のプロ選手となる。規格外の体格から、国内のプロ野球で手本にできる選手が見つからず、身長208センチで米野球殿堂入りした、同じ左腕の名投手ランディ・ジョンソン氏の映像を見て投球の参考にした。

持ち味は背の高さを生かした角度のある最速142キロの直球で、打者を翻弄（ほんろう）する落差のあるフォークボールも武器。1軍公式戦に出場できない育成契約のため、「3年目までに（支配下登録されて）1軍に上がりたい」と意気込む。

北斗市生まれで、小学3年で野球を始めた。中学時代から注目していたという札幌大谷高野球部の船尾隆広監督（49）は「入学後、投げる球はもちろん、野球に対する考え方が成長した」と夢への切符を手に入れた教え子をたたえた。

野球部は同高が女子校から共学化した2009年に創設された。創部12年目で初のプロ野球選手の誕生となる。部長を務める五十嵐大教諭（33）は「野球への真剣な姿勢は後輩への刺激になっていた。指名されて本当によかった」と話し、「投球内容でもぜひ注目を浴びて、続く選手が出てきてほしい」とエールを送った。（加藤祐輔）